



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

News Release

令和元年9月3日

「第6回物流業界インターンシップ」を開催

(一社)日本物流団体連合会(渡邊健二会長)は、令和元年8月26日～30日の5日間、ベルサール秋葉原を主会場として、会員企業30社と共同で、「第6回物流業界インターンシップ」を開催し、119名の学生が参加した。

物流連では、学生が普段見ることができない物流現場における業務体験を通じて、物流業の社会的重要性や先進性に対する理解を深め、業界の魅力を感じてもらおうと共に、自己の職業意識の育成を図る機会を提供することを目的として、平成26年9月より毎年この時期に5日間のインターンシップを開催している。

初日の午前中は、参加者全員を集めたオリエンテーションとして、物流連 長谷川理事長の開会の挨拶の後、物流いいとこみつけ隊4名から学生に向けたメッセージをパネルディスカッション形式で行った。続いて、参加企業30社が構えるブースに、学生が自由に訪問できる業界研究セミナーが全7クール(各クール30分間)行われた。学生は興味のある企業ブースを訪れ、多種多様の業種で構成される物流業について多角的に情報収集を行った。同日最後には、翌日以降訪問する企業のブースで注意事項等の確認が行われ、初日のプログラムを終了した。

2日目～4日目は、各企業での訪問・体験期間であり、参加学生に物流業を実際に目で見て肌で感じてもらうことを目的として、各社物流拠点の見学、座学、現場体験業務、座談会、ビジネスシミュレーションゲーム等、各社工夫を凝らしたカリキュラムを体験する貴重な機会となった。

最終日の午前中は、後援を受ける国土交通省(総合政策局 物流政策課 新川課長補佐)より、「日本の物流政策について」と題し、「物流の現状」や「総合物流施策大綱と施策例」について講演が行われ、学生達は真剣な眼差しで聴講していた。

講演後、本インターンシップ4日間で各人が得た知識を持ち寄って、参加学生間の情報共有を目的に物流業をテーマとした企画提案型のグループワークが行われ、20チームに分かれて活発な議論・意見交換がなされた。各グループの趣向が凝らされた発表が2チーム毎に行われ、最後に物流連 宿谷事務局長が全体の総括を行った。

同日午後の座談会では、参加企業若手社員との交流の場として、物流いいとこみつけ隊を含む参加企業スタッフ総勢39名が、1名～2名で学生5名程度を担当する座談会をローテーションで3回行い、一人ひとりの学生の様々な質問に応答し、交流を深めた。

その後、物流連 宿谷事務局長による「学生目線で見ると物流業界」と題した、物流業全般の総まとめの講演会が行われ、5日間の全プログラムを終了した。

参加学生からは本インターンシップを通して、実際に物流施設を見学・体験することで物流業への理解が深まる良い機会となったとの声が多く上がっていた。

今後は、「物流業界インターンシップ」の継続事業として今年12月に予定される「第6回物流業界研究セミナー東京」及び、来年2月に予定される「第2回物流業界研究セミナー大阪」に向け、鋭意準備を進めていくこととしている。

(一社) 日本物流団体連合会
第6回物流業界インターンシップ 事務局 高橋
TEL: 03-3593-0139



長谷川理事長 開会の挨拶



物流いいとこみつけ隊によるパネルディスカッション



業界研究セミナー



国土交通省 新川課長補佐による講演



グループワーク



グループワーク発表会



座談会



宿谷事務局長による講演